

■第2回 北海道留萌管内地域公共交通活性化協議会 路線バス分科会 開催概要

開催日時：令和4年11月18日（金）10:30～11:45

開催形式：オンライン（ZOOM）開催

- ・阿部事務局長の進行により会議を開始した。

1 開会挨拶

- ・榎波会長から開会の挨拶を行った。

- ・阿部事務局長から配付資料の確認を行った。

2 【報告】地域公共交通実態調査及び住民アンケート等各種調査結果について

- ・シン技術コンサルから資料1-1、1-2の説明を行った。
- ・以下の指摘事項があった。

【加賀谷委員】 苫前町

- ・102 ページの道内・道外のグラフが同じのため修正ください。

【コンサル】

- ・訂正する。

【阿部事務局長】

- ・事務局で精査中のもので協議する。
- ・他を含め精査する。

【榎波会長】

- ・980 世帯から回収して1,917 人から回答を得ている。
- ・24 ページの固定電話、携帯電話、スマートフォンのグラフは複数回答のため総数で2,681 人となっているが、1,917 人とならないか。

【コンサル】

- ・1,917 人として集計することが望ましいので、再集計してグラフ等を差し替える。

3 【報告】各市町村及び沿岸バス(株)との意見交換の結果について

- ・阿部事務局長から資料2について説明を行った。
- ・阿部事務局長から各委員に意見を求めた。

【真鍋委員】 留萌市

- ・JR留萌本線の代替交通として、JRが運行している早朝と夜間の時間帯で、乗合タクシーによる輸送を考えている。増毛町で運行している乗合タクシーの時間帯と調整をさせてほしい。
- ・1日1往復で羽幌－苫前－留萌－旭川の速達便の運行を考えている。管内町村の協力を得たい。

【廣澤委員】 小平町

- ・路線バスに接続する形で代替案を各バス会社と協議することを考えている。
- ・鬼鹿地区においてはタクシー会社への支援を考えている。

【加賀谷委員】 苫前町

- ・バス会社を含めた話し合いの場があって良いと思う。
- ・管内で議論、意見交換の場ができて良いと思う。

【阿部事務局長】

- ・本協議会は計画を策定するだけでなく、その後の公共交通維持を含めた議論の場となる。

【宮崎委員】羽幌町

- ・先ほど説明されたように、個々では課題はあるが路線バスとしては維持で良いと思う。

【山崎委員】初山別村

- ・令和3年4月から村内デマンド交通を開始し、1年半が経過した。
- ・小さなまちなので、事業の永続性と担保性が必要。
- ・何かやろうとするとマンパワーが不足する状況の中、社会福祉協議会により運行を行っている。
- ・羽幌町を生活圏としているのでスムーズにつながれば良いと考えている。

【室矢委員】遠別町

- ・幌延留萌線は現状維持で問題はない。
- ・減便は考えていない。
- ・町内の移動が課題と考えている。

【鎌田委員】天塩町

- ・公共交通計画ということで幌延留萌線の維持をお願いする。
- ・単独計画の策定にあたってデマンド交通の実証運行を行っている。
- ・10月にハイヤー事業者が廃業する中、新たな事業者によるハイヤー事業の申請を行っている。

【菅原委員】増毛町

- ・4月から有償運送事業のハイヤー事業を行っている。
- ・1台で運行しているため、予約が重なると待ってもらっている。
- ・平日の9時から17時の運行のため、夜間や休日の運行が課題である。

【齊藤委員】沿岸バス

- ・幌延留萌線、羽幌留萌線等において通学、通院及び観光の利用がある中、拠点別に分割する案を提案されたが、利用者からは選択肢をなくする可能性があるため慎重な検討が必要と考えている。
- ・かつて鉄道が運行している時は羽幌、遠別等において分割して運行した。運行便数も多かった。
- ・人口減少が著しく通学の利用に配慮しながら、様々な検討を行う段階に入っていると思う。

【阿部事務局長】

- ・幌延留萌線の見直し検討は今後想定されるものの、現時点で検討し計画に反映させるのは時期尚早とのご意見が大勢と承知。
- ・今後とも皆様の声を反映した計画の策定に務める。

4 【議案】北海道留萌管内地域公共交通計画構成案及び今後のスケジュール

- ・阿部事務局長から資料3-1、3-2について説明を行った。

以上。